

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

136号



2011年11月30日

ときわ台の景観を守る会
ときわ台まちづくり委員会
代表 鈴木博之 近藤洋子
事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 行政訴訟高裁判決

常盤台住民の請求棄却 — 相も変らぬ行政追従 —

去る11月24日(木)3時30分、霞ヶ関東京高等裁判所806号法廷で、高世三郎裁判長・加藤謙一裁判官・廣田泰士裁判官から判決が告げられました。「棄却」という主文読み上げは10秒もかからなかったでしょう。「建築確認処分取消等訴えの追加的併合控訴事件」という私たちの控訴はこうして2審を終えました。他の多くの住民訴訟と同じように。

こういう事件が引きもきらないのに、臭いものに蓋式の対応で、いつまでやっていくのでしょうか。腐りきってしまった日本の危うさを感じてしまいます。

内容については、弁護士からの説明を受け、原告を中心とした住民の話し合いを持って、今後の方針を決めて行きたいと思います。とりあえず、残念な結果をお知らせしておきます。

11月末まで葉書によって裁判所に公正な裁判を求める要請運動を行いました。判決と前後してしまいましたが、ご意見のいくつかを載せて紹介します。ご協力くださった皆様、どうも有難うございました。

- ・ 歴史ある常盤台の素晴らしい景観を後世につなぐためにも、常盤台市民の声を聞き入れてください。
- ・ 常盤台のきれいな街並みが高層マンション等でドンドン景観が壊され、空が奪われていくことが本当に悲しいです。
- ・ 不動産収益だけを重視したマンション建設業者のやり方は、我々市民の声を聴くことなく、きれいな街並み景観を誇る常盤台を壊しております。今ここで歯止めをかけなければ、景観は完全に失われます。(次号でも掲載します)

○ プラタナスの並木道

先日、ある住民の方から「2丁目のプロムナードに柵の木の若木が植えられているのよ。これからはプラタナスを植えてくれると約束していたので残念です」というお話がありました。早速区役所土木部にお尋ねすると、「最近、プラタナスが害虫に冒されて、葉が茶色に変色することが多く、なかなか駆除も進んでいないんです」とのこと。昔から“並木道はプラタナス”と親しまれています。成長して葉が茂るまで数年はかかります。早く駆除が済んで、植えていただけることを願っています。なおこの害虫は人体には悪い影響がないそうです。 W

○ ロータリーコンサート のお知らせ

12月18日(日)

午後5時15分～6時

ときわ台駅北口ロータリーで

出演 常盤台バプテスト教会聖歌隊
曲目 クリスマスキャロルの数々

ぜひご一緒にお楽しみください

まだ続く高層マンション建設の愚挙

― 高齢者にふさわしい住まいとは? ―

前野町のペンタックス跡地では、延々と土壌や地下水の浄化作業が続いています。いかに汚染がひどかったかが想像されます。

しかし、S B通りの巨大マンションがまだ売れ残っているというのに、この跡地には、またまたマンションが計画されているそうです。

高層ビルは大会のオフィスビルなら解りますが、人が住むマンションとなると問題です。

先日の大地震では、関東の高層マンション上層階の七割で家具が転倒したり移動したという調査がありました。揺れが長く続き、エレベーターがストップし、修理・点検が済む数日間是非常階段を使って上がり降りしなければならなかったそうです。お年寄りにはさぞかし辛い体験だったでしょう。マスコミではあまり大きく取り上げないのです。高齢者は住みやすさを考えてマンションに移るのですが、いざと言う時には決して安心でも安全でもありません。

高層マンションは最も安易で儲かる仕事だったかもしれませんが、供給過剰となっていることは明らかですし、次には建て替えの問題が控えています。なけなしの頭金をつぎ込んで三五年ローンをやっと払い終えたと思ったら、建て替えが決まり、資金がないので反対しても三分の二以上の賛成派に押し切られ、強制退去でホームレスになった人がもう実際に出ています。

では、どういう住居が理想的なのか、まだまだ日本の国情にあった良いものがないように思えるのですが、建築関係の人たちの意見を聞きたいものです。

ハクビシン交通事故?

十月二十三日(日)二丁目十七番あたりの道端で、一匹のハクビシン(体長40cmぐらい、雌の成獣)が死んでいました。口から少量の血を吐いている他は外傷がありませんでした。車に撥ね飛ばされたのか、毒入りの餌でも食べたのか良くわかりません。翌日、区の清掃課に電話して引き取ってもらったそうです。

最近タヌキの方はとんと消息を聞きません。やっぱり引越したのでしょうか。

公園トイレでの事件

常盤台公園のトイレでひとつの命が絶たれたことは、様々なことを考えさせる事件でした。一時期、公園には数人のホームレスの姿が見られたし、ここ数年は足の悪い比較的若い人が常駐していました。この町にも不況や貧困問題は無縁ではないはず。

しかし、公園トイレでの自殺について、この「ニュース」に載せて知らせる必要はない、自殺はプライベートなことだ、むしろ知りたくない事件だ、などの意見がありました。読者にも同じ感覚の人がいるかもしれません。

編集子にはそれはショックな意見でした。様々な問題が浮かび上がります。日本人の事なかれ主義? ジャーナリズムとは? まちづくりとは? この「街づくりニュース」の役割・意義とは?

皆さんは、やはり知りたくなかったでしょうか。

常盤台公園のはなづくり

十一月八日に花壇の植え替えをしました。サルビア・マリーゴールドがストック・パンジー・ハボタンなどに変わりました。来年六月ぐらいまで、このメンバ―が公園を彩ります。

今年のチューリップも咲いてのお楽しみです。例年より球根の間隔を狭く取って植えています。ターシャ・チューダーの庭造りを見ると、球根は大きな穴を掘ってひとまとまりに大量に植え込んでいました。その方がきっと自然に見えるのでしょうか。

皇帝ダリアにはまだつぼみができていません。今年もあのきれいな花を見せてはくれないつもりでしょうか。2丁目Sさんの家では沢山蕾をつけ、時ならぬ桜の花盛りのようだというのに・・・と悔しがっていたら、Tさんが読んだ「ダリア」の本によると、皇帝ダリアは夜間照明の下では花をつけないとか。道理で、と納得しました。来年は公園の別の場所に移植しましょう。

枯葉の季節になりました。公園を毎週月曜日に掃いてくださる方たち、ご苦労様です。私たちも自分の家の周囲だけでなく、ちよつと遠征して落ち葉掃きの範囲を広げましょう。

定例会十二月十日(土)七時

「ギャラリー服部」にて